

高齢者の皆さんへ

## 対象となる予防接種はお済みですか？

市内在住の高齢者のうち、次の要件の対象になる人は、**平成30年3月31日(土)まで** 定期予防接種を受けることができます。希望する人は早めに医療機関に予約をして、期限までに予防接種を受けましょう。

### 高齢者の肺炎球菌

【対象者】 次の表に該当する人で、今までに成人用肺炎球菌ワクチンを接種したことがない人

65歳	昭和27年4月2日生～ 昭和28年4月1日生の人	70歳	昭和22年4月2日生～ 昭和23年4月1日生の人
75歳	昭和17年4月2日生～ 昭和18年4月1日生の人	80歳	昭和12年4月2日生～ 昭和13年4月1日生の人
85歳	昭和7年4月2日生～ 昭和8年4月1日生の人	90歳	昭和2年4月2日生～ 昭和3年4月1日生の人
95歳	大正11年4月2日生～ 大正12年4月1日生の人	100歳	大正6年4月2日生～ 大正7年4月1日生の人

60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害(1級)を有する人 ※接種時に、身体障害者手帳の提示が必要です。

接種回数 1回 自己負担金 **5,680円** (8,680円の接種費用のうち、3,000円を市が負担)

上の表の対象者が、高齢者の肺炎球菌を定期予防接種として受けることができるのは今年度1回限りとなります。平成30年4月1日以降は任意接種として全額自己負担になります。

### 高齢者のインフルエンザ

【対象者】 接種日時点の年齢が下記に該当する人

- ・満65歳以上の人
- ・満60歳～64歳の人で、心臓、腎臓、呼吸器又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害(1級)を有する人

※接種時に、身体障害者手帳の写し、または医師の診断書が必要です。

接種回数 1回 自己負担金 **1,400円** (4,700円の接種費用のうち、3,300円を市が負担)

#### 《共通事項》

福津市、宗像市、福岡県医師会加入の各医療機関に事前に電話予約の上、本人確認用の健康保険証などを持参して接種を受けてください。福津市、宗像市以外の医療機関や医師会未加入の医療機関で接種を希望する人は、手続きが必要な場合がありますので、必ず事前に市いきいき健康課保健指導係までご連絡ください。

#### 《接種費用に関する注意事項》

対象者のうち、下の表の要件に該当する人は、接種費用が全額免除されます。表内の証明書類①～④のいずれかを接種日に必ず医療機関に提出してください。接種後に提示された証明書は払い戻しの対象にはなりません。

免除要件	証明書類
市民税非課税世帯の人(世帯全員が市民税を課税されていないこと)	①介護保険負担限度額認定証
	②後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証
	③非課税証明書(インフルエンザ予防接種用または高齢者肺炎球菌予防接種用) 非課税証明書の様式は予防接種の種類で異なります。両方の予防接種の対象に該当する人はそれぞれ対象となるものをご準備ください。交付は無料です。次の窓口で申請してください。 ・市税務課 ・市市民課市民総合サービス係(津屋崎行政センター)
生活保護世帯の人	④診療依頼書または保護受給証明書

問い合わせ 市いきいき健康課 保健指導係 ☎34・3352



細かいところに気をつけて、模型作成中

慣れない工具を使って、頑張っています

元気と笑顔で「いらっしやいませ」



お客様のために心をこめて、丁寧に



## 働くことの大切さ

### 中学生職場体験

9月下旬の5日間、市内の中学2年生497人が福津市、宗像市、古賀市の110カ所の事業所の協力により、さまざまな職場で社会人、職業人としての貴重な体験をすることができました。

市学校教育課 ☎62・5090

#### 生徒の感想

特に仕事のやりがいがあったのは模型作りです。サイズを計算して図形をかき、その形に発泡スチロールを切って組み立てて模型を作りました。(福間中学校)

お菓子のシール貼りや店内掃除が、シューにクリームを入れるよりずっときつかったです。お菓子、ケーキを作るほかに仕事がたくさんあると感じました。(福間中学校)

周りを見て行動したり、人の気持ちを考えて行動したり、礼儀を守ったり、本当の仕事場で働くような体験ができました。(福間東中学校)

この仕事は「ありがとう」が多い仕事だよと言われて、なるほどと思いました。やりがいのある仕事っていいなと思いました。(福間東中学校)

お客さんに接するときは「挨拶・元気・笑顔」と言われました。これが一番大切だそうです。(津屋崎中学校)

初日から、小学生が私に「先生遊ばし」とか「ご飯一緒に食べよ」とか声をかけてくれたので、とてもうれしかったです。(津屋崎中学校)

職場体験学習は、働くことの意義やすばらしさを知り、社会人としての基本的なマナーを学んだり、人と人とのつながりについての理解を深めたりすることを目的に、毎年実施しています。生徒たちは、この体験を通じて、仕事の大変さだけでなく、働くことの厳しさやお客さんへの感謝する心などを学び、自分の将来に向けて進路について考える機会になりました。事業所からは「指導しながら、自分

分たちも逆に中学生に教えられるという「中学生の働きぶりに感激した」などの声が聞かれ、中学生が一生懸命に働いた姿がうかがえました。家庭でも体験談を聞き、将来や進路について話をする機会になったのではないのでしょうか。この体験が、子どもたちにとって勤労観や職業観を広げ、地域の絆を感じ、将来の地域への担い手として、職業人として活躍するきっかけになることを期待しています。